

るものであった。

調査の組織は、主任調査員に埼玉大学名誉教授小野文雄氏、さらに県下に一八名の調査員がおかれ、県教育局文化財保護課及び県立文書館が事務局を担当した。この調査の成果は『埼玉県立文書所在確認調査目録』として公刊された。本目録には第一部「家別所在目録」として、明治二二年以前の古文書を所有する家数二二八八軒、第二部「中世文書目録」として、寛永期以前文書三五八軒二四〇五点、第三部「寛永以前検地帳目録」として、一三八軒四七五冊が収録されている。調査の経過、及び収録文書の全体的な内容については、目録解題に詳しいので参照されたい。

今回の調査は、中世文書の下限を寛永期まで降したので、いわゆる幕藩体制社会成立期の諸問題を考えるうえで、貴重な文書を多数収録することができた。(埼玉県立文書館)

会告

第四回総会・研究会 一月二一日、二二日 岐阜県歴史資料館

埼玉県における古文書所在確認調査

県教育委員会では文化庁の補助金をうけ、昭和五二年度単年度事業として、古文書所在確認調査を実施した。この調査は過去四年間にわたって行われた古文書緊急調査のあとをうけ、県下九郡九二市町村の文書所在状況を緊急に調査し、その保存対策を講じようとする

歴史資料保存利用
機関連絡協議会

会報 第三号 一九七八年五月二五日

水戸市緑町二一一一五 (電〇五二二五〇四五)

茨城県歴史館史料室

浦和市高砂三一一二二 (電〇四八三六三三)

埼玉 県立文書館

協議会事務局

(理想社印刷)